

議会だより

NO.235



第5回 町議会定例会

第5回定例会は9月15日に開会し、町長の行政報告のほか、4議員の一般質問と3件の意見書案、条例や各会計補正予算などを審議・可決し閉会しました。

意見書 可決

議員から提出された3件の意見書案について審議の結果、原案のとおり可決し、関係機関に提出することとしました。

件名	要旨	提出先
種苗法「改定」案に関する意見書	<p>種苗法の改正案が、継続審議となっている。</p> <p>改正内容 農家の自家増殖を許諾制にして、海外流出を防ぐとともに、種苗会社の新品種育成意欲を失わないようにする</p> <p>問題点 ①自家増殖の禁止により、安定的な食料生産と経営が脅かされる ②多国籍企業による遺伝子組み換え種子などの独占が更に進み、食の安全安心が危惧される</p> <p>要求事項 優れた種苗を守るためには、従来同様に海外での品種登録を積極的に進めることが現実的であるため、改正案の取り止めに強く求める</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・衆議院議長 ・参議院議長 ・内閣総理大臣 ・農林水産大臣
国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書	<p>道路整備の推進や管理の充実強化が図られるよう次の事項を要望する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 長期安定的に道路整備が進められるよう、新たな財源創設と予算の満額確保 2. 高規格幹線道路の早期開通、早期着手、暫定2車線の4車線化 3. 「防災・減災、国土強靱化3ヶ年緊急対策」の継続拡充と予算確保 4. 道路施設の老朽化対策推進のため、メンテナンスサイクル確立 5. 冬期交通における安全確保、無電柱化、地域の復興を支える道路整備 6. 泊原発周辺道路事業の国の負担割合引き上げ 7. 災害発生時に備えた北海道開発局と開発建設部の人員体制の維持・強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・衆議院議長 ・参議院議長 ・内閣総理大臣 ・財務大臣 ・総務大臣 ・国土交通大臣 ・国土強靱化担当大臣
新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	<p>令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、次の事項を要望する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地方税・地方交付税等の確保充実、臨時財政対策債の発行額縮減と償還財源確保 2. 地方交付税の財源補償機能と財源調整機能が発揮できるよう総額の確保 3. 令和2年度の地方税減収補填措置と弾力的な対応 4. 地方税体系の構築と国税・地方税の政策税制の有効性・緊急性の判断 5. 固定資産税の現行維持、新型コロナ緊急経済対策の国庫補助金化 	<ul style="list-style-type: none"> ・衆議院議長 ・参議院議長 ・内閣総理大臣 ・財務大臣 ・総務大臣 ・厚生労働大臣 ・経済産業大臣 ・内閣官房長官 ・経済再生担当大臣 ・まちひとしごと創生担当大臣

条例

可決

小清水町表彰条例制定

表彰候補者とする者及びその基準等をより明確に見直すこととし、現行の褒賞条例を廃止し、新たに条例を制定するものとする。

(公付の日施行)

小清水町議会議員及び小清水町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例制定

公職選挙法改正により、町村長及び議会議員選挙に対しても、各地方公共団体が条例を定めることにより

- (1) 選挙自動車用自動車の使用
- (2) 選挙運動用ビラの作成
- (3) 選挙運動用ポスターの作成

に係る費用が公費負担の対象となるものとする。

(令和2年12月12日施行)

規約

可決

北海道市町村総合事務組合規約の変更

北海道市町村職員退職手当組合規約の変更

北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更

それぞれの組合に加入していた団体が脱退したことに伴い、規約を改正するものです。

(総務大臣又は知事許可の日施行)

契約

可決

小中学校情報機器整備事業にかかる契約の締結

▼契約先
有限会社 さが井商店

▼契約金額
3千277万1千200円

人事

同意

教育長

令和2年9月30日をもって任期が満了する教育長の再任に同意しました。

▼教育長

加藤 友幸氏

教育委員会委員

令和2年9月30日をもって任期が満了する教育委員会委員の再任に同意しました。

▼教育委員会委員

渡辺 亨氏
鈴木 修司氏

令和2年度 補正予算 可決

▶一般会計

歳入歳出予算の総額にそれぞれ4千529万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額を64億1千298万6千とするものです。

主な補正内容は次のとおりです。

補正科目	補正額	主な補正内容
総務費	19,623千円	運動・スポーツ習慣化促進業務委託料 など
民生費	10,208千円	特別養護老人ホーム経営安定化支援交付金 など
衛生費	5,173千円	一般廃棄物処理場残容量調査業務委託料 など
農林水産業費	10,255千円	農業振興拠点施設整備事業工事請負費 など
教育費	36千円	委員報酬 など
合計	45,295千円	

▶介護保険特別会計

【保健事業勘定】 歳入歳出それぞれ 9,689 千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ 558,443 千円とするものです。

決算

決算審査
特別委員会



議長及び監査委員を除く8名で構成する決算審査特別委員会を設置し、第5回町議会定例会において付託された、令和元年度各会計歳入歳出決算について審査を行いました。
また、同委員会において審査結果が報告され、次のとおり認定されました。

- ▼決算審査特別委員会
委員長 高橋 隆文 議員
副委員長 工藤 孝一 議員
- ▼一般会計
委員長報告のとおり認定
- ▼国民健康保険特別会計
委員長報告のとおり認定
- ▼後期高齢者医療特別会計
委員長報告のとおり認定
- ▼介護保険特別会計
委員長報告のとおり認定
- ▼簡易水道特別会計
委員長報告のとおり認定
- ▼農業集落排水事業特別会計
委員長報告のとおり認定

令和2年度 各会計歳入歳出決算状況

会計名	収入済額	支出済額	翌年度繰越額 (※繰越明許費含む)
一般会計	5,841,027千円	5,581,684千円	259,343千円
国民健康保険特別会計	903,891千円	862,16千円	41,726千円
後期高齢者医療特別会計	89,863千円	88,906千円	957千円
介護保険特別会計(保険事業)	552,090千円	508,053千円	44,037千円
介護保険特別会計(サービス事業)	21,148千円	21,148千円	0千円
簡易水道特別会計	146,340千円	133,120千円	13,220千円
農業集落排水事業特別会計	128,323千円	117,384千円	10,939千円



※ 繰越明許費 歳出予算のうち、経費の性質上又は予算成立後の事情によって、年度内に支出が終わらないと見込まれるものを、議会の議決を得て翌年度に繰越して支出できるようにする制度。

一般質問

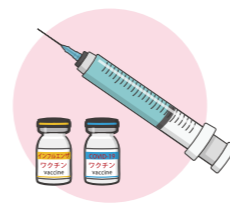
新型コロナウイルス感染症同時流行対策について

工藤 孝一 議員



1点目に、厚生労働省が発出した「次のインフルエンザ流行に備えた体制整備について」本町の対応等を伺います。

2点目に、インフルエンザと新型コロナウイルスが臨床識別困難で、新型コロナウイルスが未開発であることから、インフルエンザワクチン接種拡大が求められます。町長の考えをお聞きます。



答①

久保 弘志 町長



厚生労働省の通知では、各都道府県が主体となっており、多くの医療機関で発熱患者の相談・診察・検査ができるよう、本年10月を目前に医療体制を整備することとしており、これにより身近な医療機関に直接相談・受診できるようになることで住民の不安が少し解消されるものと考えています。

本町では赤十字病院にて、医師の判断により新型コロナウイルスの抗原検査が受けられる体制を整え、発熱がある場合は、来院前の電話連絡などで一般外来との接触を避けるよう対応しておりますが、インフルエンザ流行期の発熱患者が急増する前にどのような対策が必要となるか、赤十字病院と連携を図っていきます。

2点目ですが、清水赤十字

ましたが、全国的にもワクチンが不足している中で助成制度を新たに拡充しても、申し込みに対してワクチンを接種出来ない恐れがあることから、現状の助成措置を維持していきたいと考えています。

子どもの発達支援について

工藤 孝一 議員

発達障がいのある子どもたちは、その特性から学習面や社会性などの生活面においてさまざまな困難を抱えており、失敗の経験が重なることで自尊心の低下といった二次障がいにもつながります。一人ひとりに合った支援の必要性から、「心の専門家」である臨床心理士を招いての学習の機会を設けるべきと考えますが、所見を伺います。

答① 久保 弘志 町長

子どもの発達支援については、母子保健事業と子育て支援事業、教育と療育が連携し、妊娠期から学童期における切れ目のない

問② 工藤 孝一 議員

継続支援に努めています。支援にあたる専門職には知識と資質の向上が重要と考えていることから、精神科医師や児童相談所の職員を講師とした研修会や管内での事例検討会に参加させるほか、専門職員がファシリレーターとして障がいをもつ親の皆さんと学習会を開催しています。臨床心理士による研修は受講していないため、よりよい支援につながるものであれば開催を検討したいと考えています。

パートナーティーチャー派遣制度により網走特別支援学校から教員が来校し、担任教員などに学習指導の進め方や指導計画の支援を行っています。特別支援学校では自閉症情緒障がいの取り組みがないことから、発達支援の中で、心の問題に重きを置いた新しい分野での研修に取り組む考えはないのか再度お聞きます。

答② 久保 弘志 町長

清水赤十字病院が指定医療機関となるかは現在保健所と調整中と聞いています。休日・夜間の対

問② 工藤 孝一 議員

赤十字病院が指定の医療機関になるのか、休日と夜間の診察体制について伺います。
また、清水赤十字病院の関係者や、介護・教育・保育などの関係者についてもワクチン接種や定期的な抗原検査を行う考えはないのか伺います。

答③ 久保 弘志 町長

コロナ禍でのインフルエンザ流行を踏まえ無料接種を検討し

問③ 工藤 孝一 議員

現在本町では65歳以上の町民については1000円の自己負担でワクチン接種が受けられますが、高齢者や希望する町民への無料接種の考えはないのか再度お聞きます。

久保 弘志町長

発達障がいをお持ちの方は増加傾向にあり、早期発見が重要であると認識していますので、今後においても関係部署と連携をしながら取り組み、ご提案の臨床心理士による研修も必要であれば検討していく考えです。

保育所の現状と今後の運営について

更科 浩司議員



保育所の途中入所が現在厳しいとお聞きしていますが、現状と今後の保育運営について伺います。

久保 弘志町長

現在、定員90名のところ101名の児童が入所しておりますので、職員の配置やシフトを工夫して対応しております。このように常に定員が超過している中、途

中入所については年度途中の保育士の増員が極めて困難な状況から、緊急性がないと判断した場合も可能な限り4月からの入所をお願いしています。

今後は、3歳未満の入所希望が増加傾向にあることなどから、更なる保育士の確保に努め、保育の質の低下を招かないよう努めていきます。

更科 浩司議員

コロナ禍において地方移住への需要が高まっている傾向にありますが、保育所を利用したいと考える人たちの移住受け入れについてお聞きします。

久保 弘志町長

子育て支援を充実させるためには、保育事情に応じた定員の確保などが求められますが、現状施設では増員対応が困難なため、今後の保護者の就労形態や保育ニーズを踏まえ、保育所と幼稚園を一体化した認定こども園として整備していくことも視野に検討していく考えです。コロナ禍においての移住定住

についても、今後本町としても取り組む考えですのでご理解願います。

ふるさと納税の現状と今後の展望について

更科 浩司議員

ふるさと納税の現状と、これから納税額を増やす方法など、今後の展望を伺います。

久保 弘志町長

網走市との共同商品を加えたほか、新規商品の追加による返礼品の強化やインターネット窓口にとなる寄付受付サイトを4ヶ所に増やしたことなどにより、8月末現在、昨年度同月と比べると約800万円の寄付金額が増額となっております。

今後の展望としては、定期的な返礼品の見直しや追加、より効果の高い寄付受付サイト等での情報発信、また、観光協会等とも連携したアウトドアアクティビティの提供などの企画開発、魅力づくりを検討して

いきたいと考えています。

農業の廃プラ処理方法について

更科 浩司議員

昨年度も廃プラ処理についてお伺いしましたが、農家全体で多額の処理代金が毎年かかっており、処理業者もメリットが少ない現状となっております。新たな処理方法についての考えをお聞きします。

久保 弘志町長

産業廃棄物となる農業用廃プラスチックの処理については、農業者自らが適切に処理することが法律で義務づけられています。

7月より開始されましたレジ袋有料化をはじめ、社会全体でのプラスチック減量対策が必要となっており、産業廃棄物を排出されるすべての事業者に適切な分別などの処理が義務付けられているものですので、農業用廃プラスチックも同様に今後

久保 弘志町長

焼却などによる発電施設になると斜里郡3町であっても採算は合わないものと考えます。

更科 浩司議員

今後の処理方法を広域で考えて行く旨の回答が前回ありましたが、焼却などによる再生エネルギーを広域で考えているのかお聞きします。

久保 弘志町長

北海道の対策協議会を中心とした取り組みが必要であると考えますので、今後も基本的には法律に基づいて処理していただき、広域的な取り組みについては、さまざまな場面で意見交換を幅広く行っていきます。



GIGAスクール構想の進捗状況とICT教育に携わる人材について

佐藤 智議員



新型コロナウイルスの影響による小中学校の長期休校で、年間のカリキュラムを終了することができず、一人ひとりの習熟度が達成されているのか、小中連携教育は成果が上がっているのか、また、新たなGIGAスクール構想に基づくICT教育に携わる人材はどうするのか、ご所見を伺います。

加藤 友幸教育長



年間カリキュラムについては、学校再開時に小・中学校ともに

現学年で学ぶべきことは年度内に終わらせる方針とし、年度計画の組み直しによる学習の重点化を図った結果、予定の授業時間は回復しています。また、学習理解が重要となりますので、その対応では、休校中における復習と予習について学校再開後にその理解度を確認した上で学習を進め、現在は従来どおり習熟度別授業を行っています。

更科 浩司議員

久保 弘志町長

ICT教育についてですが、オンライン授業システムやデジタル教科書の導入など、今後GIGAスクール構想により様々な形でICTの活用を進めることとなります。

現在は、環境整備としてGIGAスクールサポーターを1名配置していますが、整備完了後も隙間無く運用していくためにICT支援員は必要と考えますので、近隣市町の状況も見ながら人材確保に向けた検討を行っていきます。

加藤 友幸教育長

英語専科の部分やデジタル教科書などICT活用の具体的な対応については、管内の教育委員会や学校等と情報交換を行いながら今後の方針を立てて進めていく考えです。

佐藤 智議員

今後、プログラミング教育や英語教育の強化など新たな課題への体制充実が必要となってきますが、ICT機器利用での対応や小中連携教育における遠隔授業等への対応など、今後の方針を伺います。また、教員が業務以外を担うことのないようにICT支援員などの人材が必要かと考えますが、あわせて考えをお聞きします。

ICT支援員などの人材については、現場の教員が知識や理解を深めて授業を進めていただくことと合わせて、教育支援員、サポーターする人材についても確保していきたいと考えていますので、ご理解願います。

模範牧場の現況について

問① 木戸 寛治議員



町内の模範牧場について、想定を超える預託頭数の受け入れにより一部問題が発生したとの情報がありますが、現況をお聞かせください。

答① 久保 弘志町長

現在の模範牧場は、平成22年度にフリーストール牛舎1棟とフリーバーン牛舎2棟を舍飼い施設として建設し、水上、上徳、美和の3牧野を合わせてJAこしみず指定管理者として管理をしていただいています。

ご質問の問題というのは預託牛の体調のことと思いますが、畜産クラスター事業等の活用により町内乳用牛の飼養頭数が増加したことで、冬季における舍飼い期は密飼いになってしまい、上手にエサ

を食べることのできない「喰い負ける牛」が出てきてしましますので、職員が確認でき次第、牛群を移動させるなどの対応をとってエサを取りやすい環境づくりに努めています。また、今年度の舍飼い期に向けては、現有施設を最大限活用できる工夫と牛の体調を管理する個体管理システムを導入し、万全な体制で舍飼い期を迎えられるようJAを中心に準備をされています。

問② 木戸 寛治議員

今後考えられる施設の充実・拡充についての考えをお聞きます。

答② 久保 弘志町長

JAとしても生乳生産年間2万トンを持続する2500頭で、各種事業を使いながら増頭しています。一方で近年離農により頭数が減る現実もあります。これらの状況を踏まえながら、酪農畜産を守るためJAと意見交換をしながら進めていきたいと考えています。

問③ 木戸 寛治議員

育成施設の敷地として離農した土地を町で買う考えがあるのかお伺いします。

答③ 久保 弘志町長

町が購入する考えは現時点ではありませんが、JAを中心に広域的に育成施設等を作る計画などが出てきた際には、町として出来る支援はしたいと考えています。

耕畜連携事業の拡充について

問① 木戸 寛治議員

小清水高校跡地に建設予定の「農業担い手育成プロジェクトの拠点施設」における農業担い手養成学校のカリキュラムで、耕作のみならず、畜産についてのカリキュラムや研修場所は想定されているのか、町長の所見をお伺いします。

答① 久保 弘志町長

農業担い手養成学校のカリキュラムにつきましては、平成30年度より「農業担い手育成プロジェクト協議会」において検討されており、土づくりから農業経営に関する一連を学ぶコースや、就農1〜2年目の後継者を対象とした畑作のカリキュラム案が現在作成されています。

まずは、これらのカリキュラムを実践し、成果を上げていくこととしており、現状では畜産関係は想定しておりませんのでご理解願います。

問② 木戸 寛治議員

現在、搾乳農家には酪農ヘルパー組合が存在していますが、搾乳と肉牛では仕事内容も労力も違うということで肉牛のヘルパーの確保が難しいとお聞きしています。

そこで担い手プロジェクトの中で基本的には農業を行いながら酪農についても学び、派遣できるような体制を作る考えはな

予想されるインフルエンザ流行対策について

問① 森 浩 議員



今秋から冬にかけて、新型コロナウイルスと類似性のあるインフルエンザの流行が懸念されており、

いのか再度お聞きします。

答② 久保 弘志町長

現状、農作業の支援組織等々立ち上がっていますが、基本的には畑作から始まっています。ただし将来的には酪農ヘルパー組合も人材確保が難しい状況となり、酪農・畜産に関わる人を育成できる仕組みも必要になってくると思いますので、将来を見据え、担い手育成プロジェクト協議会の中でも議論しながら検討していきたいと考えています。

早めの対策が必要とされますが、町長の考えをお聞きます。

答① 久保 弘志町長

季節性インフルエンザの感染予防は、ワクチンが有効であり、より多くの町民の皆さんが接種することができると体制整備に努めています。また、いずれも飛沫と接触から感染が起る病気ですから、感染によりリスクが高まる高齢者等の皆さんには、感染予防のマスクを配布させていただきます。感染予防資機材の整備・確保を進めています。今後流行を最小限に抑えられるよう、町民の皆さんに手洗いの慣行や3つの密を防ぐなど、感染予防につながる新しい生活様式の普及啓発を行ってまいります。

問② 森 浩 議員

インフルエンザワクチンの助成に妊婦が対象となっていてませんが特段の配慮をすべきではないでしょうか。また、高齢化社会の中で高齢者のワクチン料金

を無料または半額補助にする考えはないのかお聞きます。

答② 久保 弘志町長

妊婦に対してのワクチン接種支援策は講じていませんが、感染リスクは認識していますので、検診などで担当より声かけをしながら、早期の接種を進めていきます。

また、助成事業の拡大について検討はしましたが、ワクチン不足が予想される中で事業拡大は難しいことから、現状の支援制度を維持していく考えです。ご理解願います。

問③ 森 浩 議員

発熱の症状が出た際の対処法、マニュアルなどを高齢者に配布する取り組みを検討していただきたいと考えています。

また、そういった場合の周知方法についても自治会と連携を取りながら行うべきと考えますが、再度町長の考えをお聞きます。

答③ 久保 弘志町長

今後さらなる流行期を迎えますので、注意喚起を促すなどの周知を徹底します。加えて、本町で新型コロナウイルス感染者が発生しても暖かく見守り、支え合える町づくりをしたいと考えていますので、そこについても担当の方で現在準備をしています。

周知方法については現在の方法で十分だとは考えていませんので、自主防災組織が約7割以上結成されるなど、住民コミュニティが再生してきている中で、自治会のお力をいただきながら周知徹底に引き続き努力していきたいと考えています。



総務文教常任委員会

総務文教常任委員会は、所管事務調査として、9月8日に委員会を開催し、次の事項について調査を行いました。

1月所管調査後の スキー場・スケート リンクの現状について

本年1月に所管事務調査を行ったスキー場・スケートリンクについて再度担当課から説明を受け、ゲレンデやスケートリンクのコースについて確認しました。



町民スキー場

委員会レポート

中学校における携帯電話の取り扱いについて

文科省から、中学校に携帯電話を持ち込む場合の考え方について通知が出されたことを受け、本町での今後の対応等について説明を受けました。携帯電話やスマートフォンは便利ですが、ネット犯罪やいじめなど、さまざまなトラ

ブルの危険性があるため、正しい使い方や犯罪に巻き込まれないための指導を授業や学校だよりを通して、生徒と保護者に行っていることが分かりました。



教育委員会所管施設の利用状況及び現地視察について

教育委員会所管施設の利用状況について資料を基に説明を受け、石造倉庫施設・清水町郷土資料館・武道館の現地調査を行いました。

現在、石造倉庫施設は剥製やイベントで使用する資材の保管場所として活用していることが分かりました。

郷土資料館については、年に数回一般公開を行っており、保存会の方々によって適切に管理されていることを確認しました。



武道館



郷土資料館



石造倉庫施設

経済厚生常任委員会

経済厚生常任委員会は、所管事務調査として、9月11日に委員会を開催し、次の事項について調査を行いました。

小水力発電事業の進捗状況について

畑作かんがい用水源としての「緑ダム」を活用した小水力発電施設の整備事業は、清里町が主体となっており令和4年6月からの発電開始を目指し事業を実施しています。現在の工事進捗状況と進めていく上での課題や完成後の発電量、維持管理などについて担当課から説明を受けました。

原生花園展望牧舎の現状について

原生花園瀧沸湖側に設置している展望牧舎の現状について担当課から説明を受け、現地調査を行いました。平成7年に放牧馬の休憩施設として設置した「展望牧舎」と、現在立ち入り禁止となっている国道から牧舎までをつなぐ「木道」の腐食状況を確認しました。



議会を傍聴してみませんか

事前申し込みなど面倒な手続きはありません。お気軽にお越しください。

【お問い合わせ先】
小清水町議会事務局 ☎62-4477 (直通)

会議録を閲覧することができます。

ホームページ及び図書館において町議会本会議の内容がすべて記載されている会議録を閲覧できます。

また、議会だよりは、ホームページでも見ることができます。

<http://www.town.koshimizu.hokkaido.jp/gikai/>

小清水町議会



で検索できます。

議会日誌

9月1日～30日

- 8日 総務文教常任委員会
- 11日 議会運営委員会
経済厚生常任委員会
- 15日 議会運営委員会
第5回町議会定例会
決算審査特別委員会
表彰審議会
- 24日 役場庁舎等建設検討委員会
- 28日 議会報編集特別委員会



皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。



- 編集 / 議会報編集特別委員会
- 委員長 / 瓜田 新一
- 副委員長 / 木戸 寛治
- 委員 / 高橋 隆文・鬼塚 茂
工藤 孝一・佐藤 智

議会事務局 ☎ 0152-62-4477 (直通)